



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6806 URL <http://www.hirose.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中村 達朗  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部副本部長 (氏名)福本 広志 (TEL)03-3491-5300  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	49,182	3.5	11,612	△11.4	12,295	△8.3	7,386	△11.3
23年3月期第2四半期	47,537	18.5	13,105	44.9	13,409	33.0	8,330	35.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 4,212百万円(△27.4%) 23年3月期第2四半期 5,798百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	209.57	—
23年3月期第2四半期	234.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	260,363	235,714	89.5
23年3月期	260,136	237,562	90.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 233,154百万円 23年3月期 234,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
24年3月期	—	75.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	55.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,500	1.1	19,500	△11.5	20,000	△12.0	12,500	6.7	358.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	40,020,736株	23年3月期	40,020,736株
24年3月期2Q	5,163,399株	23年3月期	4,706,759株
24年3月期2Q	35,245,146株	23年3月期2Q	35,599,382株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成23年11月7日(月)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月の東日本大震災による甚大な直接的被害に加え、原発事故による電力供給不安や放射性物質汚染等懸念すべき問題は多かったもののサプライチェーンの早期復旧により生産活動の回復も見られるようになりました。

一方、足もとでは世界レベルでの金融不安から海外経済の減速、長期化する円高など企業を取り巻く環境は一段と厳しく、先行きの不透明感は強まっています。

このような状況下当社グループは、東日本大震災の影響で3月に落ち込んだ生産量の挽回を鋭意推進すると共に、引き続き社内態勢の整備も図りながら従来以上に高度化するニーズに適合した製品開発力の強化や新製品の開発促進、一層の品質向上に努めるほか、生産効率化、海外生産の拡大及び経費節減等を含めたコスト低減及び国内外における販路拡大・販売力強化等経営全般にわたり積極的な諸施策を講じて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間は東日本大震災の影響による国内カーメーカーの減産や一部携帯電話・スマートフォンメーカーの停滞及び産業用機器分野の受注伸び悩み等の影響もありましたが、ヒロセコリアの連結子会社化による増加分もあり、売上高は491億8千2百万円（前年同期比3.5%の増）、営業利益は116億1千2百万円（同11.4%の減）、経常利益は122億9千5百万円（同8.3%の減）、四半期純利益は73億8千6百万円（同11.3%の減）となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

## [多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主として携帯電話・スマートフォン、デジタル情報家電、パーソナルコンピュータ、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されてるコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当第2四半期連結累計期間は、国内カーメーカーの減産や一部携帯電話・スマートフォンメーカーの停滞等の影響もありましたが、ヒロセコリアの連結子会社化による増加分もあり、売上高は397億7千3百万円（前年同期比2.0%の増）、営業利益は96億7百万円（前年同期比12.4%の減）となりました。

## [同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、または携帯電話・スマートフォン及び伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタもこの中に含んでおります。

当第2四半期連結累計期間は一部携帯電話・スマートフォンメーカーの停滞等の影響もあり、売上高は57億7千7百万円（前年同期比3.0%の減）、営業利益は16億8千7百万円（前年同期比10.5%の減）となりました。

## [その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、方向性結合器、固定減衰器、同軸スイッチ等の高周波デバイス製品、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高は36億3千万円（前年同期比39.8%の増）、営業利益は3億1千7百万円（前年同期比28.2%の増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度に比べ2億2千7百万円増加して2,603億6千3百万円となりました。負債は支払手形及び買掛金の増加などにより、20億7千5百万円増加して246億4千9百万円となりました。また、純資産は、自己株式の取得などにより18億4千8百万円減少して2,357億1千4百万円となりました。この結果、自己資本比率は89.5%となり、前連結会計年度末と比べ0.8%低下しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

一部海外携帯電話・スマートフォンメーカーのビジネスの停滞、産業機器市場向けの受注低迷及び長期化する円高の影響等を総合的に検討致しました結果、平成23年5月9日に公表致しました通期連結業績予想の修正を行っております。

なお、通期連結業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートは1US\$ = 76円、1ユーロ = 105円を想定しております。

具体的な内容につきましては、本日（平成23年11月4日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	109,422	105,679
受取手形及び売掛金	23,056	24,645
有価証券	22,411	23,890
商品及び製品	3,956	4,259
仕掛品	2,342	2,507
原材料及び貯蔵品	968	957
未収入金	2,513	2,254
その他	2,965	3,262
貸倒引当金	△36	△40
流動資産合計	167,599	167,417
固定資産		
有形固定資産	24,464	26,983
無形固定資産	1,884	1,647
投資その他の資産		
投資有価証券	64,158	62,251
前払年金費用	382	357
その他	1,966	1,793
貸倒引当金	△320	△88
投資その他の資産合計	66,187	64,315
固定資産合計	92,537	92,946
資産合計	260,136	260,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,944	12,019
未払法人税等	4,063	4,422
賞与引当金	1,494	1,503
役員賞与引当金	122	120
資産除去債務	49	45
その他	3,800	4,357
流動負債合計	20,474	22,469
固定負債		
退職給付引当金	141	161
その他	1,958	2,018
固定負債合計	2,100	2,180
負債合計	22,574	24,649
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,371	14,371
利益剰余金	262,056	266,797
自己株式	△49,321	△52,692
株主資本合計	236,511	237,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,124	2,115
為替換算調整勘定	△3,820	△6,842
その他の包括利益累計額合計	△1,696	△4,726
新株予約権	64	63
少数株主持分	2,682	2,496
純資産合計	237,562	235,714
負債純資産合計	260,136	260,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	47,537	49,182
売上原価	25,687	28,217
売上総利益	21,850	20,964
販売費及び一般管理費	8,744	9,352
営業利益	13,105	11,612
営業外収益		
受取利息	375	431
受取配当金	57	63
その他	426	257
営業外収益合計	858	751
営業外費用		
為替差損	538	50
その他	16	17
営業外費用合計	555	67
経常利益	13,409	12,295
特別利益		
受取和解金	234	21
特別利益合計	234	21
特別損失		
固定資産除却損	108	102
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31	—
特別損失合計	139	102
税金等調整前四半期純利益	13,503	12,214
法人税等	5,172	4,584
少数株主損益調整前四半期純利益	8,330	7,629
少数株主利益	—	242
四半期純利益	8,330	7,386

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,330	7,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△356	△9
為替換算調整勘定	△2,175	△3,407
その他の包括利益合計	△2,532	△3,416
四半期包括利益	5,798	4,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,798	4,355
少数株主に係る四半期包括利益	—	△143

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報等】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,983	5,955	44,939	2,597	47,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	38,983	5,955	44,939	2,597	47,537
セグメント利益(営業利益)	10,973	1,885	12,858	247	13,105

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子医療機器、方向性結合器、固定減衰器、同軸スイッチ等の高周波デバイス製品、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

2. 地域に関する情報

売上高

	日本	海外売上高				合計	連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域		
I 売上高(百万円)	19,507	2,466	21,858	2,989	716	28,030	47,537
II 連結売上高 に占める割合(%)	41.0	5.2	46.0	6.3	1.5	59.0	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,773	5,777	45,551	3,630	49,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	39,773	5,777	45,551	3,630	49,182
セグメント利益(営業利益)	9,607	1,687	11,295	317	11,612

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子医療機器、方向性結合器、固定減衰器、同軸スイッチ等の高周波デバイス製品、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

2. 地域に関する情報

売上高

	日本	海外売上高				合計	連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域		
I 売上高(百万円)	18,923	2,423	24,342	3,049	443	30,259	49,182
II 連結売上高 に占める割合(%)	38.5	4.9	49.5	6.2	0.9	61.5	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。